



初めての「信州肉の祭典」をPRする  
実行委員と出展業者の人たち

## 県産の肉で初の祭典

24日から  
山形で

県内産の牛肉と豚肉、鶏肉を使ったさまざまな料理を味わう初めてのイベント「信州肉の祭典」が24、26日、山形村の大型商業施設・アイシティ21駐車場北側で開かれる。松本市と安曇野市の飲食店など8業者が出展し、ステーキやハンバーグ、ギョーザなど腕によりをかけたおいしい肉料理を一品ずつ提供する。

実行委が8日に発表した。井上の常務執行役員でもある井上博文委員長は「人が集まった。地域が活気づく新

った小売業や営業、イベント企画に携わる40代の松本市民有志3人が実行委員会をつくって準備を進めてきた。3日間とも午前11時から午後7時、各業者がキッチンカーやテントで肉料理を作って販売する。会場には飲食できるコーナーを設ける。

「おいしい切り口の試みを考えた。県内産の食肉の地産地消につなげ、ゆくゆくはジビエ(野生鳥獣料理)なども扱いたい」と語った。出展する1人で松本市大手2でビアレストランを営む新原典明さん(37)は「和牛のステーキを出したい。県内産の肉のおいしさを大勢の人たちに知ってもらいたい」と話していた。

仕事を通じて知り合

り、地域が活気づく新

(浦田 長)